

令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市成逸老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

方針 ①事業所は、事業の実施に当たっては、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるものとする。 ②事業の実施に当たっては、地域との結びつきを重視し、関係市町村、居宅介護支援事業者及びその他の居宅サービス事業者並びにその他の保健医療サービス及び福祉サービスを提供する者との綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。 ③事業所は、利用者の人権の擁護、虐待の防止等のため、必要な体制の整備を行うとともに、その従業者に対し、研修を実施する等の措置を講じるものとする。 ④事業所は、サービスの提供に当たっては、介護保険法第118条の2第1項に規定する介護保険等関連情報その他必要な情報を活用し、適切かつ有効に行うよう努めるものとする。 ⑤事業所は、介護保険法その他の法令、「京都市介護保険法に基づく事業及び施設の人員、設備及び運営の基準等に関する条例（平成25年1月9日京都市条例第39号）」及び「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準（平成11年3月31日厚生省令第37号）」等に定める内容を遵守し、事業を実施するものとする。
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

①通所介護計画の作成、利用者への説明・交付・同意と実施 ②レクリエーションの提供及び入浴・排泄・食事等の介護並びにその他日常生活上の世話 ③送迎サービス・健康チェック ④要介護状態等にある利用者に対して、個別の介護計画に基づくサービスを提供し、心身機能の維持・改善に努め、もって介護の軽減と日常生活の安定・向上を図る。 ⑤施設内研修の充実 「法令遵守」「尊厳と職員倫理」「食中毒・感染症予防」「交通事故防止」「高齢者虐待・権利擁護・身体拘束廃止」「プライバシー保護・個人情報保護」「介護知識・技術」「レクリエーション」「パソコン・ソフト活用と情報管理」「リスクマネジメント」「メンタルヘルス」「腰痛予防」「ケースカンファレンス」「介護予防」等、新人・中堅職員育成研修等々を計画的に実施し、職員の専門性の向上を図る。
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容
(参考) 自主事業内容

3 サービス提供状況

管理者1名 生活相談員 3名（内兼務2） 看護職員 3名 介護職員 9名（内兼務3） 事務員1名
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

・市内中小企業に優先して発注するよう努めた。

5 施設の利用状況（施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 延べ利用人数（実績値）

7419 人

(2) 実利用人数（実績値）

1020 件

(3) 収支実績

ア 令和4年度収入状況（単位：円）

介護保険収入	69,029,900
利用料収入	5,395,747
委託料収入	
補助金収入	900,419
寄付金収入	
雑収入	809,400
その他	
収入計	76,135,466

イ 令和4年度支出状況（単位：円）

人件費	61,155,077
事業費	13,377,467
委託費	7,447,141
小額修繕費	460,240
その他	4,001,768
支出計	86,441,693

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

サービス担当者会議や送迎時のご家族との情報交換の際に把握するとともに令和3年8月末現在、サービスを利用されている方を対象にアンケート調査を全利用者・家族向け実施して利用者の満足度の把握をしている。

(2) 利用者満足度把握の結果

施設利用者アンケート

* 入浴について：満足59.1%、やや満足20.5%、普通11.4%、やや不満0%、無回答9.0%
* 食事について：満足46.5%、やや満足16.3%、普通20.9%、やや不満16.3%、無回答0%
* 送迎について：満足72.7%、やや満足13.6%、普通11.4%、無回答2.3%
* 行事やレクリエーションについて：満足43.2%、やや満足15.9%、普通27.3%、やや不満4.5%、無回答9.1%
* 苦情や改善要望を行った時の当事業所の対応について：満足18.2%、やや満足9.1%、普通11.4%、その他54.5%、無回答6.8%
* 当センターの設備について：満足40.9%、やや満足15.9%、普通31.8%、やや不満4.5%、無回答6.9%
* 感染対応について：満足61.4%、やや満足15.9%、普通11.4%、その他4.5%、無回答6.8%
* 当事業所を利用して満足していますか？：満足70.5%、やや満足13.6%、普通11.4%、やや不満2.3%、無回答2.2%

(3) 意見等への主な対応状況

利用者・家族のご意見を聴取し、個別ケアの希望として生かし、職員へは周知して改善するように取り組んでいます。結果は毎年広報誌・HPに掲載・センター内での掲示・報告書を閲覧できるよう情報公開しています。

7 その他特記事項

(1)

高齢者の尊厳、食中毒、感染症、法令遵守、災害時避難訓練などの研修を実施し、専門職の向上に積極的に取り組んだ。人材育成の為キャリア・職種ごとの研修を本部と一体的に計画・実施している。第三者委員の懇談会をコロナ禍であった為書面開催で実施し、苦情・事故等の報告とご意見を頂きケアの質の向上に努めている。

(2)

コロナ禍継続の為、例年実施していた同一敷地内の北総合支援学校との交流、看護実習、ボランティアの受け入れを中止。ボランティアの方には活動報告を送付している。訪問理美容はカットのみで継続実施。令和4年度はコロナ陽性者発生での休業が9日間、大雪で1日間休業している。

8 評価（指定管理者自己評価）

事業の実績は前年度と同様維持しています。地域の施設として多くの相談者が来所されています。成逸センターは「人権の尊重」「地域密着」「自立支援」「公益性と透明性・誠実」「対等な人間関係・専門職集団」を基本理念とし、常に誠意をもって利用者一人ひとりの暮らしと意志を尊重し、認知症になっても、障害が生じて地域で安心して暮らし続けられるよう、北総合支援学校との交流・運営協議会の参加・地域包括支援センター開催の地域ケア会議への参加等、職員研修等に取り組んでいます。高齢施設として新型コロナウイルス感染拡大予防の為面会、外来者の訪問を中止、3密を予防する為の対策・消毒の実施等毎週感染会議を実施して新しい情報の確保・職員周知に努め、感染対策を継続して行っている。職員育成では高齢者虐待・権利擁護、障害を理由とする差別解消に向けた研修を定期的に行い、職員研修により理解を深めている。